

529ヘクタールの水源の森からのホットな情報発信 第37号 2006年 6月

# やどりき水源林ニュース

発行 (社)かながわ森林づくり公社県民運動課 編集 かながわ森林インストラクターの会  
〒258-0021 足柄上郡開成町吉田島2489-2  
☎0465-85-1900 URL: [http://www.ny.airnet.ne.jp/k\\_sinrin](http://www.ny.airnet.ne.jp/k_sinrin)

## やどりき水源林 定例観察会のお知らせ

毎日曜日午後1時より1~2時間の水源林をご案内する観察会をかながわ森林インストラクターの会【森の案内人】で行っております。参加希望の方は1時までに水源林ゲート前にご集合ください。費用負担等はございません。

## やどりき水源林は梅雨の季節真っ只中



やどりき水源林は只今、梅雨の真っ只中。梅雨の始まる前の5月3日、森の案内人の登山道班の活動がありました。さわやかな5月晴れでしたが、これ以降、週末は、ずっと天候の悪い日々が続いています。その間、やどりき水源林では、森の中のさまざまな活動が行われていました。



鍋割山南尾根 1000m付近から



鹿に皮を剥がれたヒノキ



後沢への降り口の鹿柵

梅雨といっても活動に休みはありません。水源林を利用してさまざまな活動が行われています。動物調査班、植物調査班、登山道調査班などなど。これらの活動が、「森の案内人」活動ややどりき水源林を支える小さな力のひとつになっています。



↑ボランティア林A上部を後沢乗越しからみると安定した森林に見える。

↑ボランティア林Aをやどりきの広場から見る。緑のない箇所は広葉樹の森になったところ。

↓ボランティア林の入り口

↓アッチガオ沢上部の広葉樹林帯に行く。林床に緑はなく



ディアラインのような緑の線が、目線の高さに見える。ここにも鹿の足跡が随所に見ることができます。すでに鹿柵も役に立っている様子はありません。



6月初旬、梅雨の合間にやどりき水源林でけが人の搬出訓練を行うかながわ森林インストラクター。こうした努力によって森の案内人活動や森林整備ボランティア活動が支えられています。参加者は、いずれも真剣な眼差しで講師の説明を聞いています。写真は、広場でトレーニングをし、ボランティア林内で実践訓練を行うインストラクターたち。誰もが真剣だ。

今月のトピックス

- **ウツギ**の花が盛りの時期です。ハコネウツギ、ニシキウツギは、長く咲いていました。
- こんな鳥が鳴いています；オオルリ、トラツグミ、クロツグミ、ミソサザイ、ホトトギス等

**ウツギ**

茎が中空なので空木と呼ばれます。この仲間は種類が多く、やどりき水源林でもヒメウツギ、マルバウツギ、ウツギなど次々と白い花を咲かせます。材が堅いので、昔は箆笥や木箱の木釘や楊枝として用いられていたそうです。

来月の見所など

- 春の花の時期はそろそろ終わりです。アブラチャン、クロモジ、ハナイカダなどは実を付け始めますが、まだ青い実です。熟すのはもうしばらく後になります。